

Products

- 資本金 4,000 万円
- 従業員数 180 名
- TEL 0745-65-5931
- E-MAIL nara@kokusai-kako.co.jp



■代表者 代表取締役社長 神末 尚武

当社は、器を通じた“快適食空間”創造のため、お客さまの声に耳を傾け、確かな技術を磨き、厳しい目で品質を高め、より安全で安心な製品とサービスの提供に努めてまいりました。これからも私たちは、すべての力を結集し、スピーディに社会のニーズに応えていきたいと思ひます。

Contents

事業の概要・成果

- 複数工程に対応できる自動仕上機導入で、稼働日数短縮、短納期化、受注ロス減を実現
- 対象商品の売上拡大と収益性も大幅に改善の見込み

複数の工程に対応できる自動仕上機を導入する事で、熟練技能工の作業に頼らず、仕上工程が標準化された。

その結果、稼働日数が年間約 60 日短縮され、人件費削減と短納期化が実現。顧客が希望する納期を達成でき受注ロスの減少にもつながった。

これにより事業の対象とする C16 柄付カップと C17 ユニマグカップの売上と収益性が大幅に改善。売上規模は年間 5,800 万円から 6,500 万円に、利益額は、3 年目で 260 万円増、5 年目で 360 万円増加の見込みである。

【複数工程を、別々の機械、別々の作業員が担当】

・ボール盤バリ取り工程
・パフ仕上げ工程



・バリ取り工程
・パフ仕上げ工程

自動仕上機の導入



【複数工程を一つの機械で処理】

稼働日数年間約 60 日短縮

短納期化

人件費削減

受注ロス減



売上拡大と収益性の改善



C16 柄付カップ／C17 ユニマグカップ

年間売上：5,800 万円→6,500 万円へ(増加見込)

利益額：3 年目で 260 万円、5 年目で 360 万円(増加見込)

Task

事業化における課題

課題 部品・消耗品コストが想定 of 20 倍

導入した設備は、可塑性樹脂加工向けの機械であり、硬度の高いメラミン樹脂製品加工においては、刃・治具等の耐久性が想定より低くなってしまい、これら消耗品・部品のコストが想定 of 20 倍程度に膨らんでしまった。

想定より低かった
刃・治具等
消耗品の耐久性

想定 of 20 倍に膨らんだ
刃・治具等
消耗品のコスト

Solution

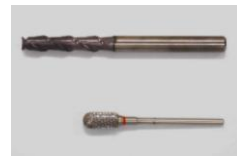
解決への道筋

施策① 耐久性の高い治具の選別

治具については、多種類の治具で試行錯誤を繰り返した後、約 4 倍の耐久性のある治具を発見、選別に成功した。

施策② 刃はディスポーザブルへ発想転換

刃も多種類を試行錯誤し、耐久性改善は困難だったが、20 分の 1 程度のコストのものの選定に成功。ディスポーザブル的な使用が可能となった。



Future

今後の事業スケジュール

【対象商品 C16 柄付カップと C17 ユニマグカップ】

- 売上：4 年目に 6,300 万円、5 年目に 6,500 万円達成
- 利益：3 年目に 260 万円、5 年目に 360 万円増加目標